

# さくらマップ 2019

**早い**




1 寒緋桜      61 河津桜

**やや早い**




6 乙女東彼岸      33 豆桜

標準的 (染井吉野を標準とした場合)






3 大島桜      8 伊豆吉野      11 仙台屋      28 思川

**やや遅い**






47 陽光      53 染井吉野      7 大提灯      22 鬱金

**遅い**





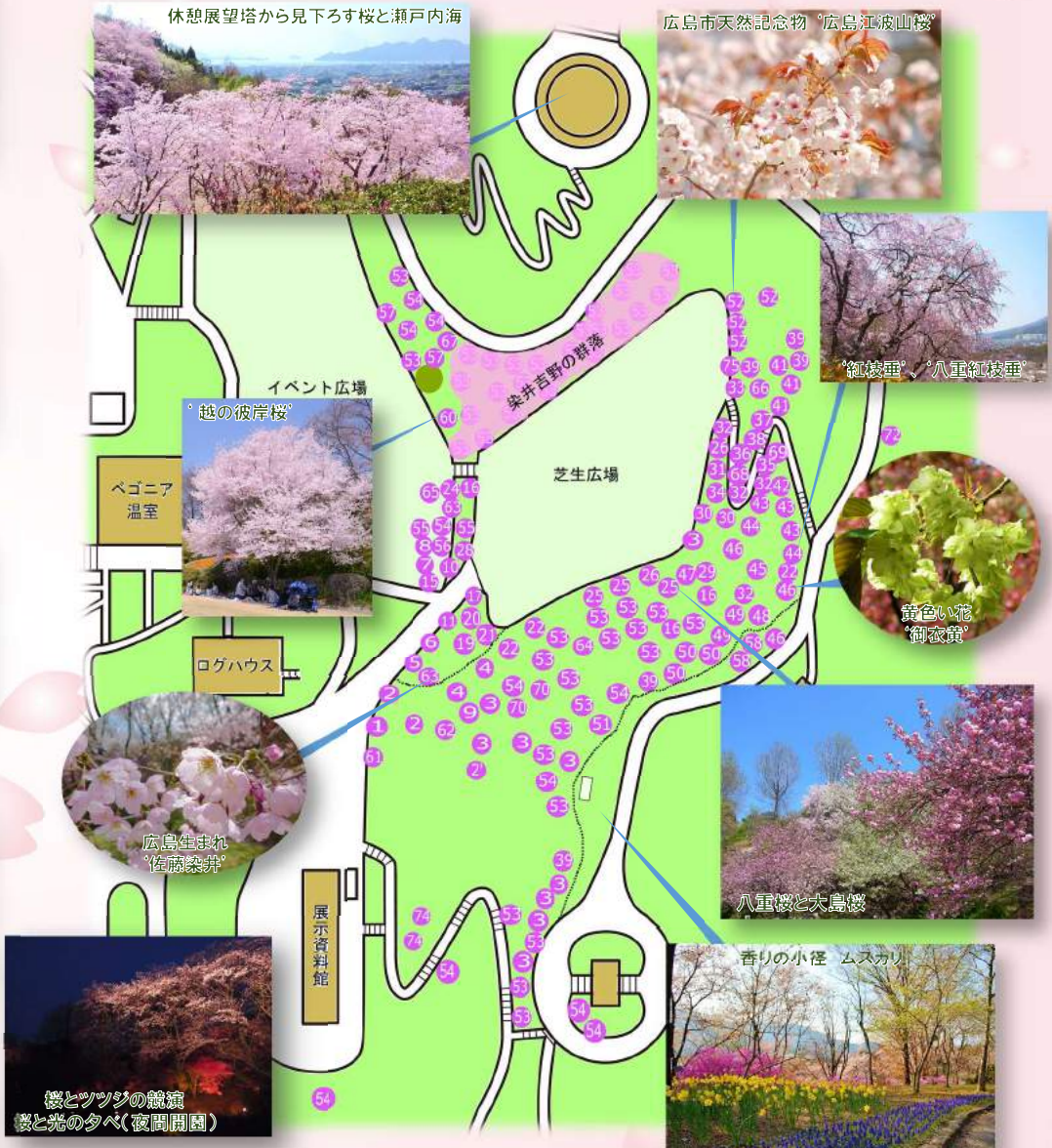

16 普賢象      20 嵐山      25 関山      26 松月

**特に遅い**






30 金輪寺白妙      34 松前新珠      32 六高菊桜      35 作並菊桜



主な桜の開花時期(染井吉野を標準とした場合)※品種名の頭の番号は、地図上の番号に一致します。

- |            |          |          |           |          |           |
|------------|----------|----------|-----------|----------|-----------|
| ● 早い       | ● やや早い   | ● 標準的    | ● やや遅い    | ● 遅い     | ● 特に遅い    |
| 1 寒緋桜      | 6 乙女東彼岸  | 3 大島桜    | 5 水上      | 16 普賢象   | 10 兼六園菊桜  |
| 2 寒桜(早咲き)  | 33 豆桜    | 8 伊豆吉野   | 7 大提灯     | 19 浅黄    | 32 六高菊桜   |
| 2' 寒桜(遅咲き) | 44 紅枝垂   | 11 仙台屋   | 21 八重紅大島  | 20 嵐山    | 46 御衣黄    |
| 4 三波川冬桜    | 51 熊谷桜   | 17 狝衣    | 22 鬱金     | 25 関山    | 48 八重囀    |
| 15 子福桜     | 60 越の彼岸桜 | 28 思川    | 29 有明     | 26 松月    | 55 一葉     |
| 61 河津桜     | 74 支那実桜  | 39 大山桜   | 49 数珠掛桜   | 30 金輪寺白妙 | 65 八重紅虎の尾 |
|            |          | 43 八重紅枝垂 | 56 昭和桜    | 31 虎の尾   |           |
|            |          | 63 佐藤染井  | 67 大島桜×山桜 |          |           |



# 広島市植物公園 さくら植栽品種リスト

※印は原種

位置図 番号	品 種 名	読 み	特 徴
1	寒緋桜※	かんひざくら	日本では石垣島に自生。花が赤く、下向きに咲き開花が早い。寒さには弱い。
2	寒桜(晩咲き性)	かんざくら	カンヒザクラとヤマザクラの種間雑種と考えられる。サクラの栽培種の中では最も早くから開花。
2'	寒桜(早咲き性)	かんざくら	カンヒザクラとヤマザクラの種間雑種と考えられる。サクラの栽培種の中では最も早くから開花。
3	大島桜※	おおしまざくら	伊豆大島に多い。白花、緑葉が標準形。サトザクラのもとになった重要な野生種。桜もちの葉に使われる。花の進化園の最上部にもある。
4	三波川冬桜	さんぱがわふゆざくら	オオシマザクラとマメザクラの種間雑種と考えられる。10月頃より翌春まで咲き続ける。
5	水上	みなかみ	花序は短く、花は白色で小さいがたくさんの花を咲かせる。
6	乙女東彼岸	おとめあずまひがん	エドヒガンに似ているが、花弁の切り込み少し深い。エドヒガンの花付きの良い選抜株。
7	大提灯	おおちようちん	長い小花柄で提灯のようにぶら下がってつのでこの名前がついた。
8	伊豆吉野	いずよしの	エドヒガンとオオシマザクラの種間雑種。広く栽培されているが、伊豆半島で自生が見られる。
9	修善寺寒桜	しゅぜんじかんざくら	カンヒザクラとオオシマザクラの種間雑種と考えられる。樹高が10mを超えるような大木になる。
10	兼六園菊桜	けんろくえんきざくら	花弁の数が最も多い品種で350枚以上ある。原木は兼六園にあり国の天然記念物だったが、枯死した。
11	仙台屋	せんたいや	ヤマザクラの栽培品種。紅色の花を持つ。原木は高知市の仙台屋という商家の前にあった。
15	子福桜	こぶくざくら	春と、秋から冬にかけての2回咲く。シナミザクラが片親。白色八重咲きで小花柄は短い。
16	普賢象	ふげんぞう	2本のめしべを象の鼻に見立てた名前。室町時代からあると言われる古い品種。
17	狩衣	かりきぬ	白色一重咲きで、サトザクラのシロユキによく似ている。
19	浅黄	あさぎ	鬱金よりも淡い花色のもの。鬱金と同一との見解もある。
20	嵐山	あらしやま	サトザクラの栽培品種。花弁は大きな円形で質が厚く、緑の色が濃い。
21	八重紅大島	やえべにおおしま	花弁は20から30。オオシマザクラとサトザクラの交雑種ではないかと考えられている。
22	鬱金	うこん	独特の淡い黄緑色の花色は、染料のウコンにたとえらる。欧米でも人気があり、よく植えられている。
24	十月桜	じゅうがつざくら	春だけでなく、秋にも咲く珍しい半八重のサクラ。マメザクラとエドヒガンの交雑種と考えられている。
25	関山	かんざん	荒川土手に栽培されていたもの。花が大きく、花弁は20から45。2本のめしべは葉化する。
26	松月	しょうげつ	葉色は緑色が強く、先端は著しく糸状に伸びる。花色は淡く上品。
28	思川	おもいがわ	十月桜の血を引くと言われている。小輪ながら枝を覆い尽くすほどに咲く。
29	有明	ありあけ	サトザクラの栽培品種。薄い淡紅色の花弁は大きく皺がある。通常は5枚だが、それ以上になることもある。
30	金輪寺白妙	こんりんじしろたえ	花色が白とされている文献があるが、当園の株は桃色の八重で、中心部付近の花弁はねじれるようにつく。
31	虎の尾	とらのお	長い枝に花が群がってつき、虎の尾状になる。
32	六高菊桜	ろっこうきざくら	岡山第六高等学校に栽培されていた。開花時には新芽が展開している。
33	豆桜※	まめざくら	富士山周辺でよく見られ「富士桜」と呼ばれている。小さくても開花するため盆栽としてもよく用いられる。
34	松前新珠	まつまえあらたま	1967年に選抜された新しい品種。花弁は30個前後、淡い紅紫色がかわいらしい。
35	作並菊桜	さくなみきざくら	花弁の多い菊桜の一つで、4月中旬に淡紅色の花が咲く。
36	祇女	ぎじょ	京都嵯峨中院に自生のを祇王寺に移植。祇王の妹、祇女に因み命名。ヤマザクラ系で八重咲き、淡紅色。
37	高嶺桜※	たかねざくら	別名「峰桜(みねざくら)」とも呼ばれ、1500m以上の亜高山帯に見られる。小花柄に毛がない。
38	千島桜※	ちしまざくら	高嶺桜より早咲き。葉の柄や花の萼付近に毛が生えている。

位置図 番号	品 種 名	読 み	特 徴
39	大山桜※	おおやまざくら	花が紅色なので「紅山桜(べにやまざくら)」と呼ばれ、北海道にも多いことから「蝦夷山桜(えぞやまざくら)」とも呼ばれている。
41	霞桜※	かすみざくら	小花柄などに毛がある場合が多く、別名ケヤマザクラとも呼ばれている。ヤマザクラより開花が遅い。
42	麒麟	きりん	カンザンに似ているが成長が遅く、幹がごつごつしている。
43	八重紅枝垂	やえべにしだれ	エドヒガン群に属する。開花期が長く、人気が高い。仙台や京都に多いといわれる。
44	紅枝垂	べにしだれ	エドヒガンの枝垂れ型のなかで花色が濃い品種。大木になるものが多い。八重紅枝垂より早咲き。
45	啓翁桜	けいおうざくら	切り花としてよく用いられ、カンヒザクラとカラミザクラの種間雑種と考えられている。
46	御衣黄	ぎょいこう	淡い緑色の花色が特異で、広く栽培されている。花弁に緑色の筋模様が入る。
47	陽光	ようこう	「天城吉野(あまぎよしの)」と「寒緋桜(かんひざくら)」の交配種で、1981年に登録された新しい品種。平和への願いを込めて作出された。
48	八重曙	やえあけぼの	サトザクラの栽培品種。花弁数は約12、福祿寿によく似る。
49	数珠掛桜	じゆずかけざくら	原木は新潟県阿賀野市(旧 京ヶ瀬村)の梅護寺にあり、1927年に国の天然記念物に指定されている里桜。
50	紅豊	べにゆたか	北海道松前町において浅利政俊が作出した、高砂系(チョウジザクラの関与が推定される)の里桜。
51	熊谷桜	くまがいざくら	キンキマメザクラが重弁化し、めしべが2個となった花が多く出る。小型で早咲き。
52	広島江波山桜	ひろしまえばやまざくら	山桜の一種で、5~13枚の花びらをつける。原木は江波山にあり、広島市の天然記念物に指定されている。
53	染井吉野	そめいよしの	はじめは「吉野桜」と呼ばれており、エドヒガン系とオオシマザクラ系の種間雑種と考えられている。
54	山桜※	やまざくら	白い花と同時に赤褐色の若芽が伸びる。ほぼ日本中に分布している。開花期など変異が多い。
55	一葉	いちよう	サトザクラの栽培品種。淡紅色の花で八重咲き。めしべが通常1本で葉化することがある。
56	昭和桜	しょうわざくら	ソメイヨシノの実生。一重で花色は白。
57	八重紅彼岸	やえべにひがん	マメザクラとエドヒガンの種間雑種と考えられる。小彼岸の花が八重咲きになったもの。
58	天の川	あまのがわ	枝は横に張らず上に向かって伸び、花も上を向いて咲く。
60	越の彼岸桜	こしのひがんざくら	「小彼岸」によく似ているが、雌しべに毛がある。10m以上に大きく育つ。
61	河津桜	かわづざくら	濃い淡紅色で大きな花が咲く。カンヒザクラとオオシマザクラの雑種と考えられている。静岡県河津に原木がある。
62	大寒桜	おおかんざくら	埼玉県川口市の安行から広められたので「安行寒桜」とも呼ばれている。
63	佐藤染井	さとうそめい	ソメイヨシノの枝変わり品で色が濃い。広島市の佐藤文雄氏が2005年に登録した新品種。
64	糸括り	いとくり	江戸時代から知られている品種で、長い小花柄があり7~8個の半八重の花が咲く。
65	八重紅虎の尾	やえべにとらのお	「江戸」「東錦」と呼ばれている桜と同じ栽培品種に分類される。
67	大島桜×山桜	おおしまざくら×やまざくら	萼筒は赤くヤマザクラのように見えるが、萼片にオオシマザクラのような鋸歯がある。
68	小松乙女	こまつおとめ	エドヒガン系の栽培品種。原木は、東京都の上野公園の小松宮銅像付近にある。一重咲きの淡紅色。
69	三春滝桜	みはるたきざくら	福島県三春町の三春滝桜の苗木を植栽。品種はベニシダレ。
70	江戸彼岸桜※	えどひがん	北海道と沖縄を除く日本全国に分布。花期が早く、長命で大木になるものが多い。(うらら池東岸にもあり)
71	小彼岸	こひがん	エドヒガンとマメザクラの雑種と考えられる。早咲きで淡紅色の花を密につける。大木にならない。(カスケード)
72	上句	じょうにおい	東京都の荒川堤に栽培されていた品種。花に強い芳香がある。(香りの小径)
73	楊貴妃	ようきひ	東京都の荒川堤に栽培されていた品種。花色が濃く、大輪の八重咲き品種。(駐車場)
74	支那実桜	しなみざくら	暖地桜桃(だんちおうとう)・唐実桜(からみざくら)ともいい、3月中旬頃に咲く。受粉樹がなくともよく実がつく。果実は食べられる。(展示資料館裏)
75	旭山	あさひやま	矮性の桜で、若木のうちからよく咲く。盆栽や鉢植え向き。ピンク色の半八重咲き。